

# 経営比較分析表（平成29年度決算）

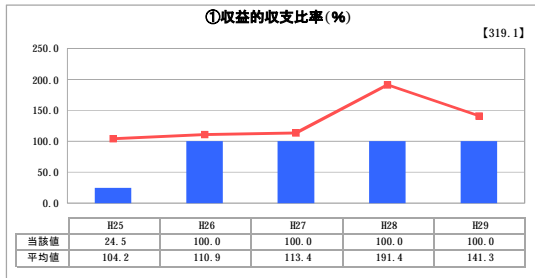
大阪府摂津市 フォルテ摂津自動車駐車場

業務名 法非適用	業種名 駐車場整備事業	事業名 -	類似施設区分 A 2 B 1	管理者の情報 非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	届出駐車場	地下式	24	

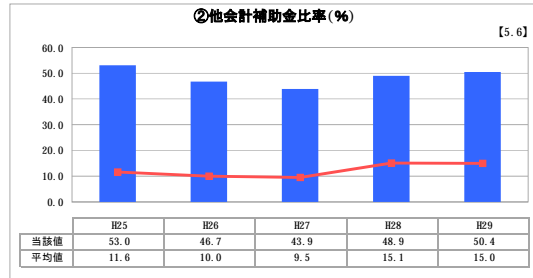
立地 駅	周辺駐車場の需給実態調査 無	駐車場使用面積(m <sup>2</sup> ) 5,481
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入 代行制
210	200	

<b>■</b> 当該施設値(当該値)
<b>-</b> 類似施設平均値(平均値)
<b>[ ]</b> 平成29年度全国平均

## 1. 収益等の状況

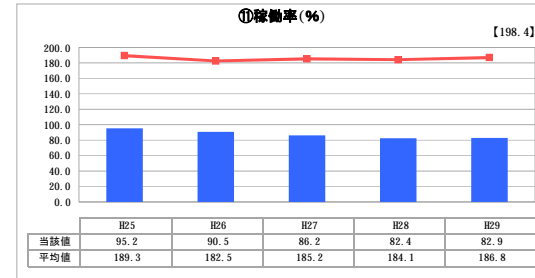


「経常損益」

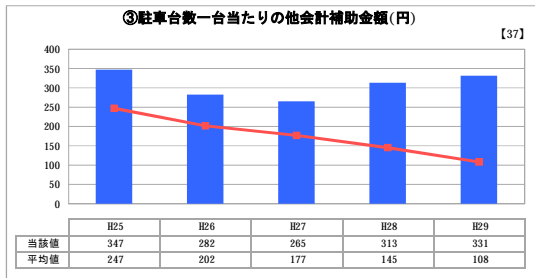


「他会計補助金割合」

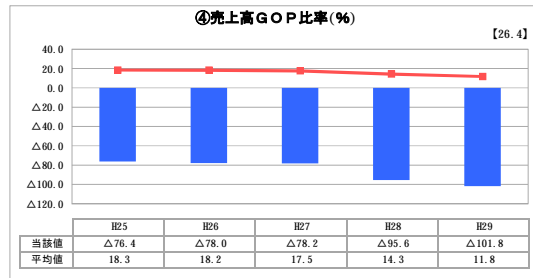
## 3. 利用の状況



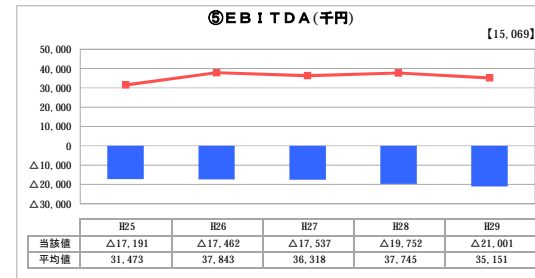
「施設の効率性」



「他会計補助金額」



「売上高に対する営業総利益」



「減価償却前営業利益」

## 2. 資産等の状況



「施設全体の減価償却の状況」

⑦敷地の地価(千円)

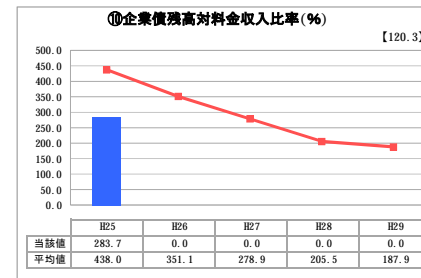
-

⑧設備投資見込額(千円)

0



「累積欠損」



「債務残高」

## 分析欄

1. 収益等の状況について  
平成24年度に収入の改善のため、時間当たりの料金や24時間最大料金の見直し等を行った。また、平成25年度に地方債の償還を終えたことから、平成26年度以降の収益的収支比率は100%となっている。しかし、依然として、他会計補助金比率は類似施設平均値と比較しても高く、他会計からの繰入金に頼り、駐車場収入の赤字を補填している状態が続いている。

2. 資産等の状況について  
平成25年度に地方債の償還を終えたことから、平成26年度以降の企業債残高対料金収入比率は0となっている。

3. 利用の状況について  
類似施設平均値を大きく下回る稼働率となっており、原因として、近隣の民間自動車駐車場へ駐車する車両が多く、市営駐車場の需要が減少していると考えられる。

## 全体総括

他会計繰入金に依存している状態や類似施設平均値を大きく下回る稼働率であることから、今後、指定管理手法の見直しや駐車台数を減らし、管理費を抑えるなど経営改善の取組を進めていく必要がある。そのため、平成32年度に将来にわたって安定的に事業を継続していくための中長期の基本計画である「経営戦略」の策定に取り組む。

# 経営比較分析表（平成29年度決算）

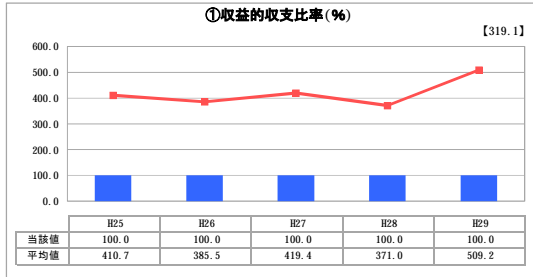
大阪府摂津市 南摂津第1自動車駐車場

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A3B1	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	届出駐車場	広場式	19	

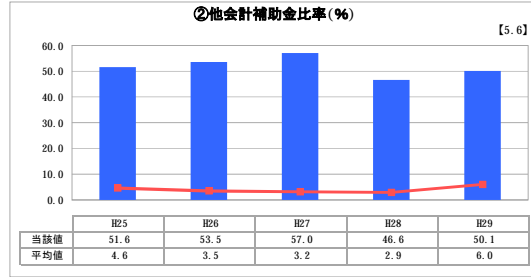
立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m <sup>2</sup> )
駅	無	3,372
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
127	200	代行制

グラフ凡例	
■	当該施設値(当該値)
—	類似施設平均値(平均値)
[ ]	平成29年度全国平均

## 1. 収益等の状況

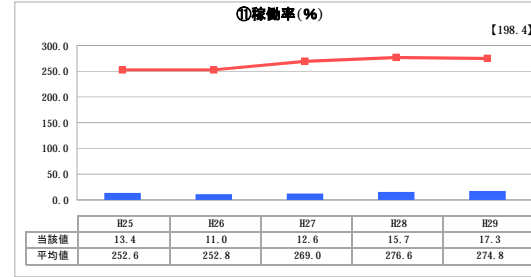


「経常損益」

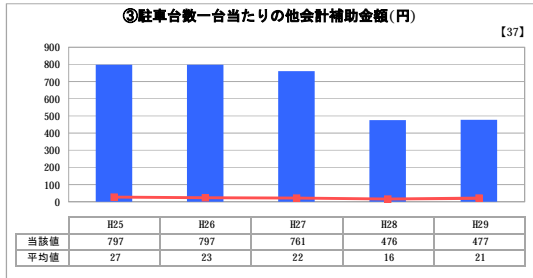


「他会計補助金割合」

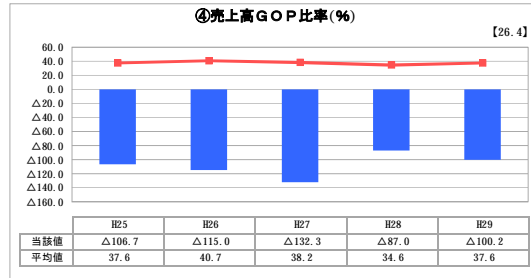
## 3. 利用の状況



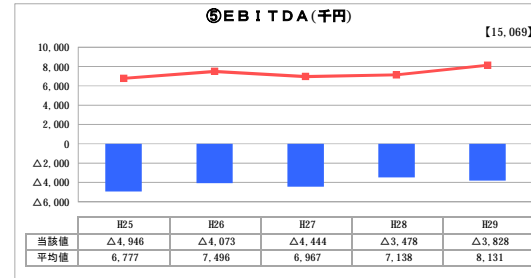
「施設の効率性」



「他会計補助金額」



「売上高に対する営業総利益」



「減価償却前営業利益」

## 2. 資産等の状況

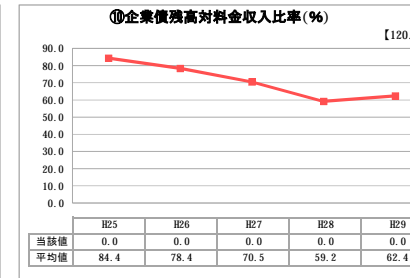


「施設全体の減価償却の状況」

⑦敷地の地価(千円)	-
⑧設備投資見込額(千円)	0



「累積欠損」



「債務残高」

## 分析欄

1. 収益等の状況について  
収入面では、平成24年度に時間当たりの料金や24時間最大料金の見直し等を、支出面では、平成26年度に出入口を機械化し人件費の縮減を図る等、収支の改善に取り組んでいるが、他会計補助金比率は、類似施設平均値と比較しても高く、駐車場収入の赤字を補填している状態が続いている。

2. 資産等の状況について  
道路高架下の平面施設であり、駐車場施設としては今後大規模な投資は見込んでいない。

3. 利用の状況について  
類似施設平均値を大きく下回る稼働率となっており、原因として、近隣の民間自動車駐車場へ駐車する車両が多く、市営駐車場の需要が減少していると考えられる。

## 全体総括

他会計繰入金に依存している状態や類似施設平均値を大きく下回る稼働率であることから、今後、指定管理手法の見直しや駐車台数を減らし、管理費を抑えるなど経営改善の取組を進めていく必要がある。  
そのため、平成32年度に将来にわたって安定的に事業を継続していくための中長期の基本計画である「経営戦略」の策定に取り組む。